

事業報告会アンケート集計《設問10》

<p>設問10 (ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)</p>
<p>(親自身も)子どもが自分で参加決定の意思を示し達成したことで子どもをさらに信じてやろうと思うようになった。</p>
<p>なるだけ何でも自分でさせるようにしています。前までは親の方が先に先にと手を出して手助けするように口を出していましたが、自主的にさせるようにしています。</p>
<p>子どもの言葉をきちんと聞くようになった。自分で考えさせるようになった。</p>
<p>「子どもってすごいなー。」と改めて思いました。信じて待つやることも必要だと感じております。</p>
<p>何でもやれば出来るんだよ！と声をかけるようになった。</p>
<p>以前は子離れ出来ていなかった自分でしたが、今では胸を張って子どもを応援(見守る)ことの出来る親になったと思います。</p>
<p>あまり口出しせず、本人に任せるようにしている。</p>
<p>「こうしたらいいのになぁー。」と思う事をすぐに言わずに、半日は(これでもものすごい進歩)様子を見て待てるようになった。</p>
<p>何かをする時、必ず何を自分がしたら良いか聞くようになりました。</p>
<p>あまり小言を言わなくてもよくなった。相手の気持ち(主に母親に対して)を少し考えようとしている姿が増えた。頼もしく見える事が増えた。</p>
<p>特にないのですが、丁寧に暮らすことを心掛けてやりたいと考えています。</p>
<p>気になれば先々と指図していた母親でしたが、一呼吸おいて行動を見てやれるようになりました。子どもを信じて待つやれば子どもは必ずするんだと実感しました。</p>
<p>自分自身では気付いていないのですが、最近子どもの方が親離れしています。スキンシップを求めてハグしようものなら仰け反って逃げて行きます。寂しいです。</p>
<p>子どもがいてくれる幸せを感じてました。家族が一人でもいないと何となくまとまらなく落ち着きませんでした。日常の当たり前の生活が本当に幸せなんだと再確認しみんなが優しくなりました。(更にです！)</p>
<p>少し距離を置いて様子を見守る事を心掛けるようになった。</p>
<p>少し距離を置いて子どもの自主性に任せるようになった。</p>
<p>少し子どもに任せるという風に心掛けるようになった。</p>
<p>今まではいろいろなことに「まだ出来ないんじゃないか」と私が先に結論を出していたのですが、最近では子どもを信じて「あの100完歩できたのなら出来るだろう」とやらせるようになりました。</p>
<p>やれば出来るという事を身を持って経験したと思う。他の子と比べる事がなくなった(比べる事が愚かである)と思う。</p>
<p>何でも自分でやらせるように、あの100で頑張ったんだから何でもできるように思うように接しております。</p>
<p>親からは手を出さず自分で何でもさせるようにしています。色々な事を安心して任せるようになりました。</p>
<p>「あの100で頑張れたのだから」と言うよりも普通に接しています。</p>
<p>自分で考えさせて行動することをさせるように(少し)なった。</p>
<p>「やれば出来るよ!」「あなたなら出来るよ!」と声をかけるようにしている。</p>
<p>小4になったので自分で考えて行動させるようになった。</p>

事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

やれば何でもできる子だと自信を持って思えるようになったのでうるさく口出しすることが少なくなった。

頑張れば何でもできる子なんだと自信を持って思えるようになったので、以前より怒らなくなった。

出来るだけ手を貸さない、分からない時にはヒントを与え自分で考えるように促しています。いろんな事を体験させ自分でする力をつけさせようと考えようになりました。(料理等)

まず本人に任せてみます。そして少しですが見守っていくことをいつも心に思っています。

そんな訳で、なかなか「感動の増幅？」が難しいです。特に変わらずです。

考えを聞くように努めています。今回のビデオを見て改めて口数の少ない子なので心の中を良く知っていかなければならないと思われています。

子どもの目先の事でなく、大きく成長した時に大きな力になってくれればいいという思いで声を掛けられるように少しずつですがなっています。やる気を出してくれるまでの子どもの気持ちを待つというのは大変ですが、息子の母は私一人。息子の失敗をしっかり包んでやれる心が大きな母になりたいと思っています。

100km完歩した自信を損なわないように出来るだけ見守る姿勢で接するように心がけています。

何事をするにも周りの支えがあることを意識することができるようになったと思います。

家族が子どもに対して変わった点は思いつきませんが、いつもと変わらない接し方でした。本人は根気強く物事に取り組んでいます。

安心して子どもに任せられる気持ちが強くなりました。

「やれば出来る子なんだネ」としっかり褒めてやっています。まだ10歳なんだから...と甘やかすのはやめま

す。

先に指示するのではなく待つように努力しています。

親が先に口に出して指示するのではなく、本人の自主性に任せてみるようになりました。気付きをアドバイスし、本人がどう行動するのか少し余裕をもって見ておられるようになったかな?と感じています。

本人自身やればできるという自信がついたと思う。そういう小さな自信を育てていきたいと思う。

子どもに物事を決断させる。みんなで協力することの大切さを考えながら行動させる。

追い立てる事をしなくなりました。

特にありませんが、何にでも前向きにしてみようという気持ちを大切にしています。

特別変わりません。本人も特別を嫌がります。いつもと変わらず笑い喋り、おバカな毎日。でも、Tシャツを大切にしています。

すぐに親が口を出さず、自分で判断させるようにしています。

自立に向けて伝える事をしっかり伝えたいと思う気持ちが強くなりました。

100kmで学んだことの記憶を忘れないように、日々の中、会話に出すように心掛けをしています。

なぜそうしたいのか、なぜそうしたのか、じっくり話を聞いてやるべきだとますます思うようになった。

事業報告会アンケート集計《設問10》

設問10

(ご家庭での子どもさんへの接し方で、変わった点がございましたらお書きください。)

私自身は恥ずかしいですがなかなか変わりません。子どもの思いを受け止めること、待ち見守ることは本当に難しいです。

子どもの話を最後まで聞くようになった。

あの100に参加している間、自分たちも子ども達と同じようなしんどさを体験しようと毎日走っていました。現在も続けています。接し方については特に変わっていませんが、出来るだけ一緒に遊んでいます。

なるべく本人に自分で出来る事はしてもらおうようになりました。

一番末っ子なのでとにかく何でも言われたことをハイハイと聞いてあげていたが、自分で考えさせるようになった。

全ての事に口出しすることをやめ、子どもの自主性を尊重するようになった。

ココが違うと感じることはないが何となくいつも安心して子どもを見守っています。

もともと自立した人間として接してきたので考えは変わらないけれど、褒めてあげることをより大事にしている日々です。

三姉弟の上なので、話をしつつ後回しにしたりすることが多かったのですが、出来るだけ顔を見て聞くように心掛けてる。

何でも手伝うのではなく、まず自分でするように声掛けをするようにしました。

子どもに判断を任せる事を多くしていこうと思う。

一人でするには少し難しい様な事も『やってみたら?』と声掛けするだけで以前はなかなか出来ませんでした。出来る事は出来る、無理な事は無理と意思表示をハッキリするようになった。また、以前よりは子ども任せにすることも増えたと思います。

何でも先々指示していたように思いますが、もう少しゆとりをもって子どもが行動するのを待ってみようと思います。

自分から行動できるようになるべく口出ししないようにしていました。しかし、夏休み終わり近くになるとやらなければならない宿題やら態度についつい...やっぱり口出ししています。反省...

どんなことでも本人に任せるようになった。そして依頼されることを先取りせず言葉でお願いするように導き、出来ない事はハッキリと断れるチャンスを与えた。

あまり口出しをせず、自主的に行動させるようにしています。

変化ではないけれど、私自身、娘の強さに打たれて優しくなったような。

少しだけど本人の思いを聞いてあげれるようになった。待つ姿勢を意識している。

上にも書いたように、子どもが変わると親も冷静になれるのか、こちら側も話し方も接し方も落ち着いて愛情を持って接せられます。隣にいる子どもが愛しくてついついジーンと子どもを見る時間が増えました。

あの100で頑張ったので「このくらい大丈夫だよ」と声掛けをし、本人もその気になってステップとなった。

一人の人間として(親離れの時が少しずつ近づいてきたことを寂しく思いながら)接するように努力している。